

バイオディーゼル燃料取組実態調査(概要)

* 調査対象事業体

- ・市町村
- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員
- ・その他協力事業者

* 調査対象期間

- ・平成18年4月1日～平成19年3月31日における実績
(調査時期:平成19年6～7月)

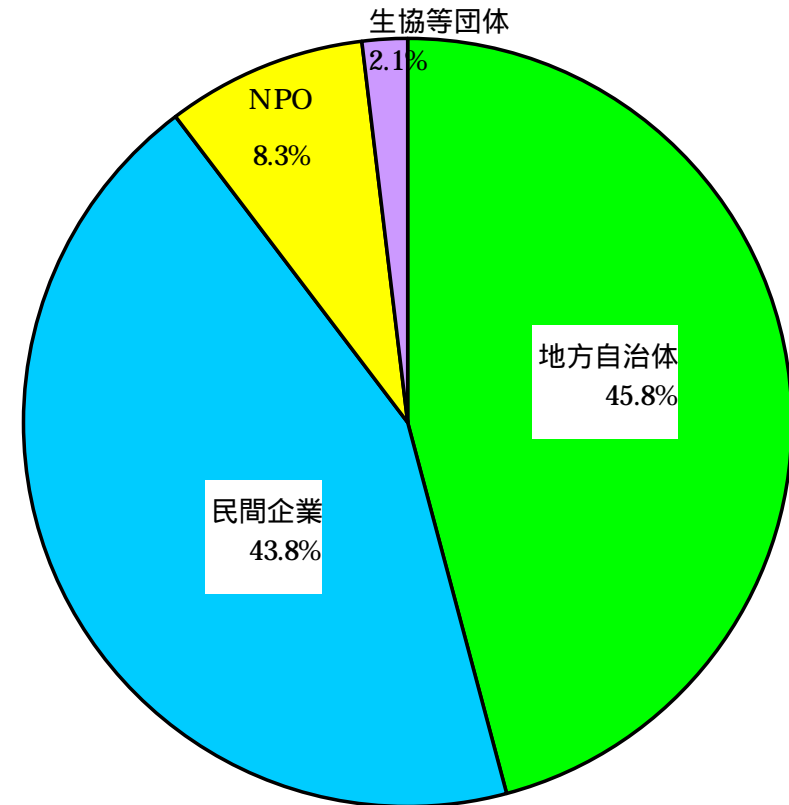
* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

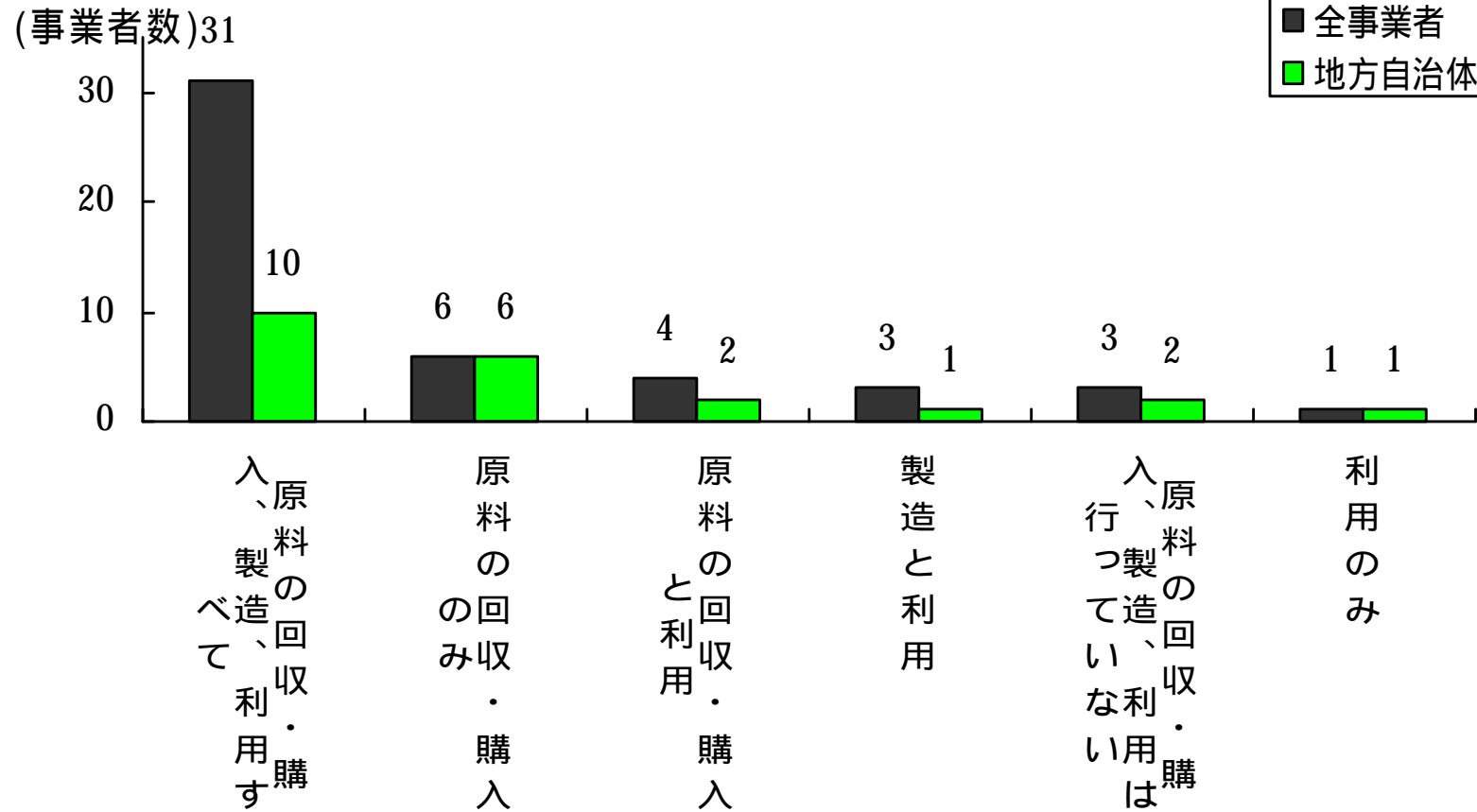
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成18年度実績のある事業者からの回答は48で、
地方自治体、民間企業の取組が多い。

組織	事業者数	割合 (%)
NPO法人	4	8.3
民間企業	21	43.8
地方自治体	22	45.8
生協等団体	1	2.1
その他	-	-
計	48	100.0

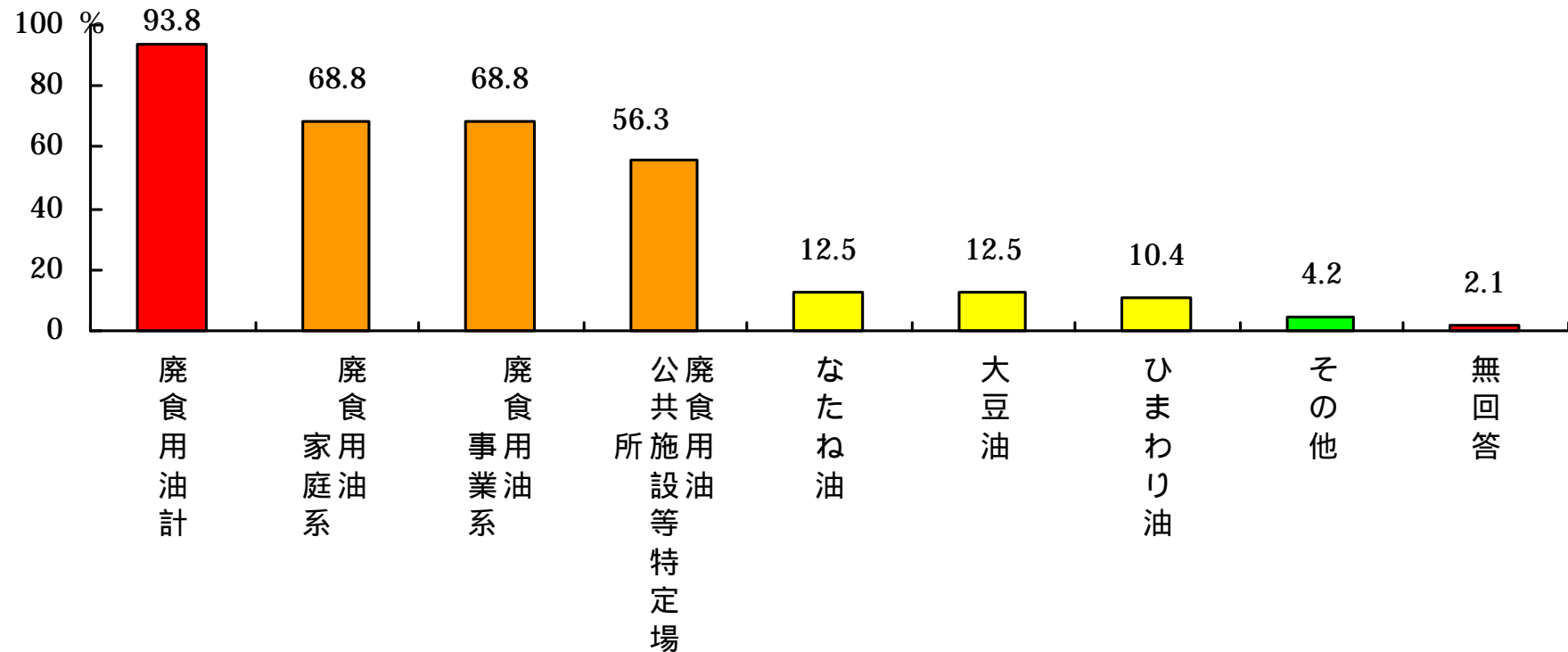


取組形態



バイオディーゼル燃料原料の種類

「廃食用油」の利用が圧倒的に多い。
事業系に頼らず、家庭系や公共施設等からも利用。



製造量と製造コスト

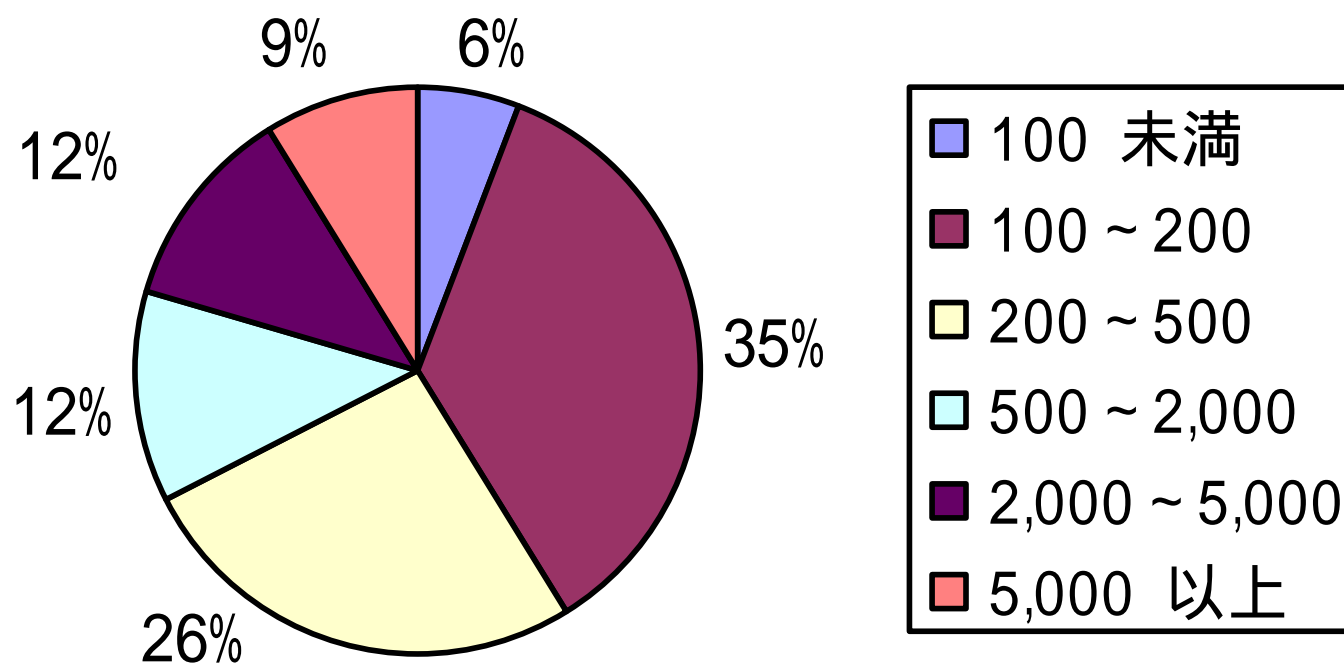
製造量：4471kℓ(1事業者平均142kℓ) / 18年度

製造コスト：104円 / ℓ

* 地方自治体では135円 / ℓで、全体平均より高め。

製造設備の処理規模(1日当たり)

100～200ℓの規模が多く、次いで200～500ℓの規模である。



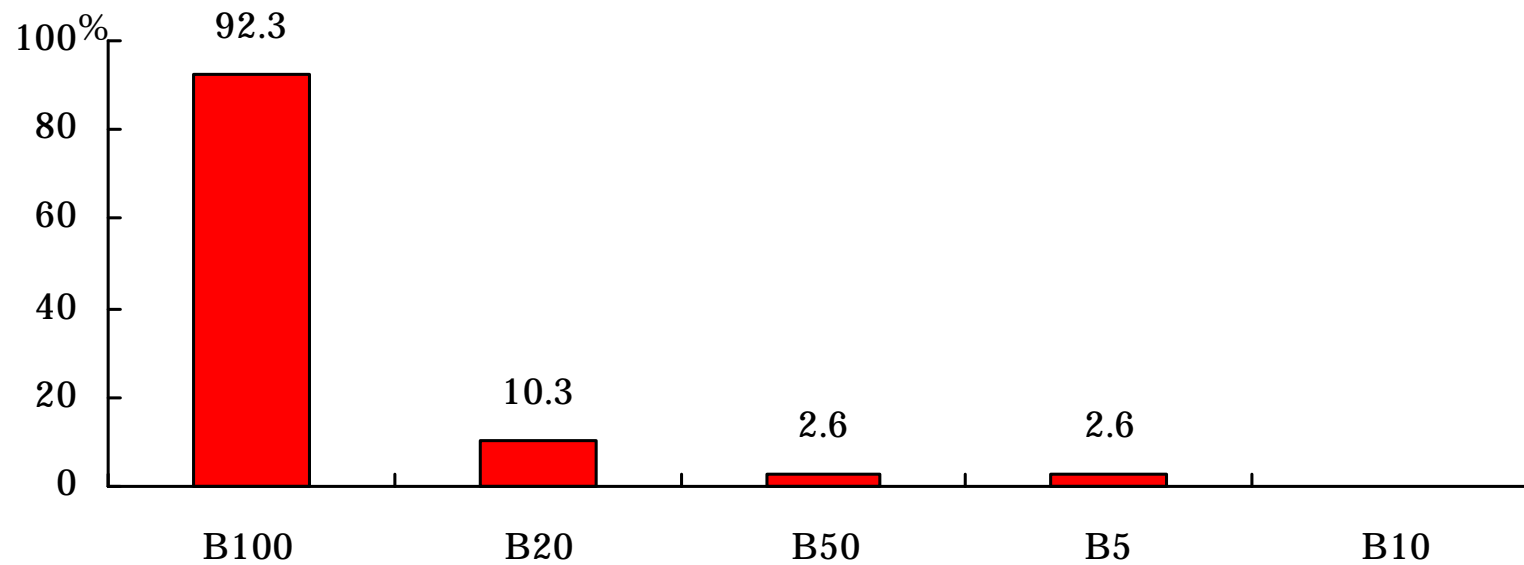
品質検査の実施状況

「不定期に実施」が最も多いが、地方自治体では「実施していない」が3分の2に達していた。（回答者33）

品質検査の実施状況	事業者数 (全体)	割合 (%)	事業者数 (地方自治体)	割合 (%)
定期的に実施	9	27.3	1	9.1
不定期的に実施	13	39.4	3	27.3
実施していない	11	33.3	7	63.6
計	33	100.0	11	100.0

利用混合率

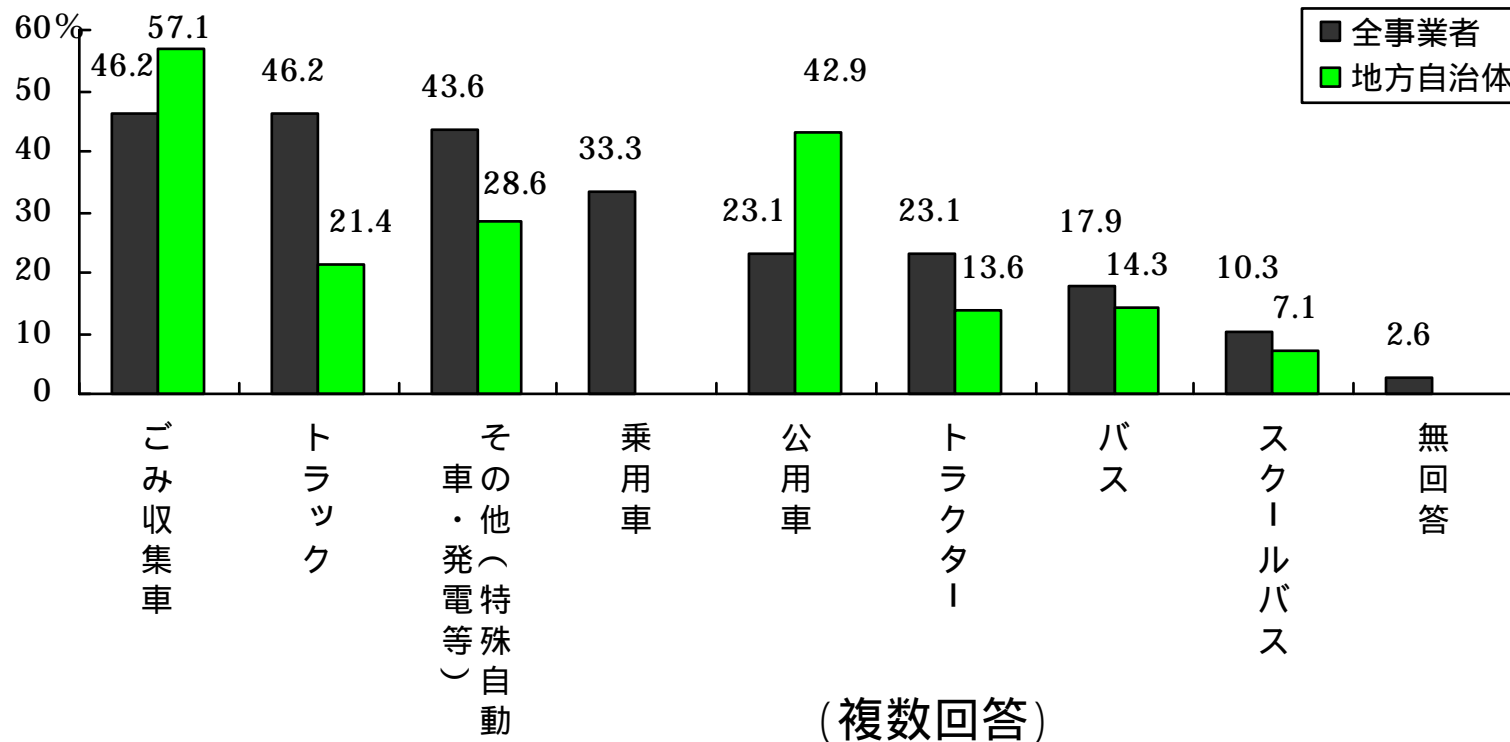
利用混合率はB100(バイオディーゼル燃料100%)が多い



利用混合率(実用回答者数39)

利用車両

- ・全事業者では、ごみ収集車、トラック、その他(特殊自動車・発電等)の利用が多い。
- ・地方自治体では、ごみ収集車、公用車が多い。



製造、利用を促進するにあたっての課題

事業者からの要望

- ・法律、税制等の規制
- ・燃料の品質確保
- ・原料の安定供給

を挙げる事業者が多かった。

